

一般的な指導及び監督の指針に基づく研修内容(全12題目)

一般研修2日間（一般・初任運転者：14時間）

1 日 目 : 火 曜 日				
時間	内 容	内 容	題目	
13:00~	開講式 (約50分)	オリエンテーション ●準備・説明・個人カルテ作成・自己紹介		
研修時間 (6.5時間)	14:00~	実技 (1.5H)	トラックの構造上の特性 ○視界と死角・後退時の危険性 ○右左折の危険性等	③
	15:30~	実技 (1H)	トラックの運行の安全を確保するために遵守すべき基本的事項（日常点検）	②
			危険の予測及び回避並びに緊急時における対応方法（指差呼称の活用）	⑧
	16:30~	実技 (1.5H)	危険の予測及び回避並びに緊急時における対応方法 ○運転と反応（危険回避）	⑧
	18:00~	★休憩	軽 食	
	18:20~	適性検査 (1H)	運転者の運転適性に応じた安全運転 ○運転適性検査 企業向・管理者保管資料	⑨
交通事故に関わる運転者の生理的及び心理的要因及びこれらへの対処方法 ○運転適性検査結果によるカウンセリング			⑩	
19:20~	実技 (1.5H)	危険の予測及び回避並びに緊急時における対応方法 ○夜間走行の危険性 視界、視覚の盲点 ○夜間検証（視認性、蒸発現象、眩惑） ○夜間走行	⑧	
20:50	終了	宿泊ホテルに送迎（通所される方は予約時に申し出ください）		

2 日 目 : 水 曜 日				
時間	内 容	内 容	題目	
研修時間 (7.5時間)	9:00~	トラックを運転する場合の心構え ○トラック輸送の社会的重要性 ○トラック事故の社会的影響 ○トラック運転者の使命と役割 ○模範運転者としての心構え	①	
		適切な運行の経路及び当該経路における道路及び交通の状況 ○運行経路情報の事前把握と適切な運行経路選択の必要性	⑦	
		健康管理の重要性 ○生活習慣の改善と精神面の健康管理 ○医薬品使用上の注意及び飲酒運転防止 ○ブレーンストーミング（心構え・経路交通状況・健康管理）	⑪	
		トラックの運行の安全を確保するために遵守すべき基本的事項 ○事事故例とその影響及び交通事故や車両故障発生時の対応	②	
	12:00~	★休憩	昼 食	
	13:00~	実技 (2H)	過積載の危険性 ○ブレーキング（滑りやすい路面での挙動）	⑤
安全性の向上を図るための装置を備える事業用自動車の適切な運転方法 ○ABS・TRC等の効果と留意事項について			⑫	
15:00~	実技 (1.5H)	貨物の正しい積載方法、安全装置の理解と適切な運転方法 ○シートベルトの必要性（着用目的、偏荷重と制動時の影響） ○自動車ガラス等の特性（自動車の安全構造等） ○被害軽減システム（SRS・衝撃吸収ステアリング・プリテンショナー等） ○追突事故の検証（低速走行での衝撃体験）	④	
16:30~	講義 または 実技 (1H)	自走事故防止策・乗車前確認行動	①	
		偏荷重と制動・積載方法の理解	④	
		過積載の危険性	⑤	
		危険物を運搬する場合に留意すべき事	⑥	
17:30	閉講式(約30分)	エバリュエーション ●個人報告書記入、研修終了証交付等		
※1	17:30	初任運転者 (1.5H)	初任診断（ナスバネットによる運転適性診断）	⑨
			カウンセリング（産業カウンセラーによるカウンセリング）	⑩

※研修内容は、天候等により前後することがある
 ※オリエンテーション及びエバリュエーションは、研修時間に含まれません
 ※題目の数字は、別紙の国土交通省の定める「一般的な指導及び監督の内容」の題目を示し、本研修で全ての題目を実施します
 ※初任運転者の方が、本研修14時間を受講された場合、事業所様において1時間の座学と添乗指導20時間を実施願います
 ※1：初任診断を希望される方は、17時30分から診断検査・カウンセリングを行います（約1.5H）<2名まで・診断手数料：4,800円別途必要>